

一般運動の方針決定に關する件

第一部 客觀的狀勢

(1) 客觀的狀勢概観

(A) 國際狀勢

(イ) 昨や至在界の經濟は、急激度の轉換期を過程してゐる。一はソヴェット聯邦に於ける經濟的向上への轉換であり、他は、資本主義諸國の經濟的没落への轉換である。ソヴェット聯邦に於ては、工業および農業に於ける社会主義的建設が益々急速に實現せられ、あるに反し、資本主義諸國に於ては、工業および農業に於ける恐慌狀態が益々深刻化してゐる。

(ロ) 現在の在界經濟恐慌は、在界大戰後、に於ける最初の在界恐慌である。それは、アメリカを切つかり、殆んどすべての資本主義國に波及してゐる。アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、日本、カナダ、支那等々が、現在、恐慌の渦の中であへて苦んでゐる。

(ハ) 在界經濟恐慌の結果、在界資本主義の内在する諸矛盾は急速に激化してゐる。

一、帝國主義諸國家間の対立の尖鋭化